

令和8年度予算見積調書

課室名：畜産安全課
担当名：総務・畜産企画
内線：4189

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P42	家畜保健衛生所機能強化事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	家畜保健衛生費	家畜保健衛生所機能強化事業費	
事業期間	令和3年度～ 令和8年度	根拠法	家畜保健衛生所法	針路	12	儲かる農林業の推進		SDGsゴール2	
1 事業概要 家畜保健衛生所の業務効率化とバイオセキュリティの向上を図り、家畜防疫体制の強化を目指す。		12 儲かる農林業の推進 1202 強みを生かした収益力のある農業の確立 SDGsターゲット2-4							

1 事業概要 家畜保健衛生所の業務効率化とバイオセキュリティの向上を図り、家畜防疫体制の強化を目指す。 施設整備事業 継続費総額 2,703,648千円 (令和6年度 987,448千円 : 36.5%) (令和7年度 493,659千円 : 18.3%) (令和8年度 1,222,541千円 : 45.2%)	5 事業説明
	(1) 事業内容 施設整備事業 ア 畜産農家が集中する県北地域に新たに基幹家保を整備する。 イ 農業技術研究センター内に設置されているBSE検査牛処理施設を新家保内に集約し、業務の効率化を図る。 ウ 新家保敷地内に防疫資材倉庫を整備し、特定家畜伝染病発生時の迅速な初動対応に備える。
	(2) 事業計画 ア 令和6～8年度 ・建築工事の実施、大型備品の整備 ・防疫資材倉庫の設計・工事 ・家保機能移転と備品整備、開所 イ 令和10年度～ ・機能移転後の家保の解体工事
	(3) 事業効果 家畜保健衛生所の業務効率化とバイオセキュリティの向上を図り、豚熱(CSF)などの家畜伝染病の発生防止や発生時の即時対応によるまん延防止を強化する。 【活動指標(アウトプット)】 ・病性鑑定部門の新家保への移設 ・バイオセキュリティを強化した施設整備 ・防疫資材倉庫の敷地内整備 【成果指標(アウトカム)】 ・迅速な疾病診断の実施 ・検査体制のバイオセキュリティ向上 ・BSE検査体制の改善 ・家畜伝染病発生時の速やかな初動対応の実施
(4) その他 ア 継続費総額 2,703,648千円 (令和6年度 987,448千円 : 36.5%) (令和7年度 493,659千円 : 18.3%) (令和8年度 1,222,541千円 : 45.2%) イ 施設改修事業(川越家畜保健衛生所)は令和5年度で終了	

予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
	県債							
決定額	1,222,541	1,186,000					36,541	△493,659
前年額	1,716,200	1,680,000					36,200	

事業内訳書

事業名	家畜保健衛生所機能強化事業		
単位事業名	施設整備事業	予算額	1,222,541千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・農林水産業債	1,186,000	△494,000	家畜保健衛生所施設整備事業債
一般財源	36,541	733	
合計	1,222,541	△493,267	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	16,992	△6,392	工事監理業務委託料
工事請負費	1,137,564	△410,576	建築工事費
備品購入費	67,985	△76,299	大型備品購入費
合計	1,222,541	△493,267	